

第1回第4次行政改革大綱策定検討部会会議録【公開用】

(以下、敬称略)

【日 時】 令和6年7月17日(水) 午前10時～12時
【場 所】 安中市役所 201会議室
【出席委員】 4名(谷口、松田、萩原、田島)
【欠席部会員】 なし
【事務局】 2名(政策・デジタル推進課長、担当職員1名)
【配付資料】

会議次第

資料1 第4次行革大綱策定スケジュール案
資料2 第4次行政改革大綱素案
資料3 事務局からの提案
資料4 第3次安中市行政改革大綱
資料5 第3次安中市行政改革大綱のポイント
資料6 安中市DX推進計画

【詳 細】

1 開会 《政策・デジタル推進課長》

2 部会長挨拶 《谷口部会長》

3 協議事項

(1) 部会の名称について

【委員で相談】

部会の名称は「第4次行政改革大綱策定検討部会」とする。

(2) 副部会長の選出について

<説明>事務局

- 本部会について、部会長は前回審議会において谷口委員を選出済み。
- 副部会長を選出するかどうか、選出するとなれば誰を選出するか。
- 前回までの第2次、第3次までの部会では1号委員の方を副部会長に選出していた。

【事務局より1号委員である松田委員を推薦】⇒承諾

副部会長：松田委員

(3) 部会の会議の公開について

<説明>事務局

- 「安中市行政改革審議会の会議の公開に関する規程」に基づき、現在審議会の会議は原則公開となっている。
- 第2次、第3次大綱策定検討部会も公開としていた。
- 公開は、開催案内と会議録を市のホームページに載せるという形で行う。
- それを踏まえて、行政改革大綱策定検討部会の公開の是非を議論していただきたい。

【委員で相談】

公開することとする。

（４）部会の開催スケジュールについて

＜説明＞事務局 資料1 参照

- 行政改革審議会は全3回、部会は全4～5回を予定している。
第1回目の部会で素案を基に項目を絞り内容を検討する。
- 現時点での案であるため協議の進行状況によりスケジュールが変更になる可能性もある。

【委員異議なし】

事務局どおりのスケジュール案で行う。

（５）第4次行政改革大綱（素案）について

＜説明＞事務局 資料2、3 参照

〈事務局からの提案①〉

第1章 策定の趣旨

「1 行政改革の目的と必要性」について

- 2つの項目に分け、1～2ページで説明していた第1節を簡潔にまとめてはどうか。

〈事務局からの提案②〉

第2章 行政改革推進項目 章全体の構成について

- 各方針で、前置き・概要を示してから各項目で説明をするという構成だったが、前置き・概要を除いてもよいのでは。それとも、方針ごとの前置きはしっかり定めたほうがよいか。

〈事務局からの提案③〉

第2章 行政改革推進項目

方針1 市民ニーズの把握と協働

方針2 職員の資質向上と人事制度

方針3 効率的・弾力的かつ機動性のある組織の整備

方針4 健全な財政運営 について

- テーマは第3次行政改革大綱と同じものとした。各項目を、時代に即した内容に更新したいと考える。
- 第3次行政改革大綱で掲げている項目に加え、**NEW**の項目は、候補として今回付け加えた項目である。

- 各方針について、不要な項目があるか、また、さらに追加したほうがよい項目があるか、今回の部会ではまず「項目を絞る」という観点でご協議いただきたい。

〈事務局からの提案④〉

第2章 方針5 自治体DXの推進 について

- 第3次行政改革大綱では「ICTを活用した情報化の推進」という方針があるが、時代に即し、「自治体DXの推進」という方針に刷新したい。内容は、主に「安中市DX推進計画」（資料6）を参照した。
- 全てが新たに追加する項目となるので、不要な項目があるか、また、さらに追加したほうがよい項目があるか、ご協議いただきたい。
- また、新たに追加した方針であるため「方針5」としたが、より前に掲げるほうがよいか、全体の並び順についてもご協議いただきたい。

<審議>◇=委員 ●=事務局 以下同じ

◇事務局からの提案①から検討を進めていきたい。 簡潔にまとめることについて、意見をいただきたい。
◇考え方として①の前提の部分を簡潔にする狙いとは。
●目的として、大綱を実践する職員にとって今よりも親しみやすいものにするためである。前回行った職員アンケートの結果も踏まえて、大綱を「知らない」、「存在は知っているが内容をあまり知らない」という職員にもう少し親しみやすいものにしたいと考えた。
●資料4の第3次安中市行政改革大綱の1頁、2頁が「策定の趣旨」であるが、冒頭から長文でなじみにくさがあるため簡潔にまとめてみた。
◇考え方が、行政改革の大綱そのものは市が策定して職員がそれぞれ自分のものとするのが大前提であり、行政改革の目的は職員だけではなく市民と共同で進めようというのがコンセプトになると思う。確かに、職員が興味・関心がないのが一番の問題。職員が、担当外の部分も含めて行政改革の意義等を認識していくためには、前提はしっかりしておいたほうがいいと思う。そうでないと、よい行政改革大綱ができて、職員にとって自分たちがどう関わっていくかという部分が抜け落ちはしないだろうか。
◇まったく賛成で、ここに書かれてある簡潔な内容はそのとおりだと思うが、今言われたことを率直に職員に伝えてはどうか。市の職員の自分たちの職務遂行に対する仕事の満足度と、市民が行政サービスに感じている満足度を具体的に出して、このギャップをどう考えるのか、そこを埋めてよりよい行政サービスを推進して素敵な安中市をつくるための計画であるのでぜひ読んでほしい、そういった形に持っていけたら少しはインパクトが出るのではないだろうか。
◇今回の素案を読んで、コンパクトだが肉づけが必要だと思った。第3次行政改革大綱の文面はきれいごとが多かった。大事なのは「やっぺいこう」という部分を組み込んでいくことだと感じる。
◇もう少し指導理念の部分を増やしたほうがいいのではないかな。

文面をシンプルにすることは方向性として賛成である。ただきれいごとを並べるだけでは意味がない。皆さんの意見のとおり行政改革大綱の冒頭として重要な指導理念はしっかりと書き留める必要があると思う。
◇総合計画で市全体の方向性が決まり、その中の行政に関わる部分について改革していくのが行政改革大綱であるから、職員にとって身近な、自分に直接関わる部分を投げかけたほうがピンとくると思う。総合計画は市民あるいは市の職員一人一人に全てを周知できるわけではない。全体の改革はできないが、少なくとも「自分の関わっているところだけは改革をしていこう」という、自分がいる行政の立場、ポジションに対する意欲を、改革の方向性として示してあげたほうがいいと思う。いいことだけでなくおかしいと思うところも示すべきだと考える。
◇市役所職員を対象とした行政改革ということで、表現の仕方は工夫がいると思う。 各論から持ってきててもよいかもしれないし職員、市民に対する「みんなで市政をやっていこう」という呼びかけが重要になってくるのではないかな。 また事務局が言うとおりの、抽象的な美辞麗句が冒頭にあると、読もうとする人の意欲がそがれるのも同感である。
●議論いただいた内容を基に職員に読んでもらいたい、そしてなぜ必要なのか、市をよくするにはこういうことが必要だと職員に呼びかけるような内容の、読み進めたくなるようなものを作りたいと思う。
◇事務局からの提案②について。 第２章行政改革推進項目の概要を省くことについて、意見をいただきたい。
●先程の説明に補足をさせていただくと、資料４の第３次安中市行政改革大綱の１１頁のように各方針で前置き・概要を示してから各項目で説明をする構成だったが、前置き・概要を除いてもよいかな。
◇賛成である。きれいごとを並べるのではなく、大事なことを伝えていけるならそういった構成もよいと思う。インパクトのある内容であれば形式にはこだわらない。 また、今回事務局からの提案にはない部分だが、「本市を取り巻く状況」の部分をはっきり、具体的にわかりやすく、インパクトをもって、伝えてほしいと思う。
◇意見にあった「本市の取り巻く状況」においては、本日は資料がないため、現状を踏まえた上で次回以降、事務局で可能な限りの対応をお願いしたい。 その他、何か意見はあるか⇒なし
◇事務局からの提案③について 第２章行政改革推進項目 方針１ 市民ニーズの把握と協働について 項目が多岐にわたっているので省いたり、加えたりする項目があればご意見いただきたい。
◇（１）について 情報の発信において安中市の魅力を積極的に発信すべきだと思う。安中市の魅力があまり認知されていない。 若手の力を借りるなどして、インスタやＴｉｋＴｏｋ、特にショート動画等でより積極的に魅力を発信することを推進するという内容を加えていただきたい。

◇情報発信の方法等を考えて伝えていくと結論づけている項目について、何のための情報発信なのかという観点、「安中市の魅力を伝えるための情報発信である」という考え方を取り入れるのはもっともである。
◇子育て中の方など若い方の情報発信にも目を向け、盛り込んでいけると、大綱が小さくまとまらずよいと思う。
◇ここ二・三年の安中市の情報発信は以前と比べてかなり増えている。 自信を持って進めていただきたい。
◇（２）について 質問になるが「市民の意見やニーズが「住民エゴ」ではないか判断」とあるが、「住民エゴ」に基準もないのに言い切ってよいのか。他の人から見ればエゴだと思われるかもしれないが、そこで生活している人にとっては切実なことかもしれない。
●第３次行政改革大綱にも入っていることだが、住民全体としての要望ではなく個人一人だけの要求・要望だけをしていることを指している。
◇「住民エゴ」という表現は変えられないだろうか。
◇「住民エゴ」はとがった表現ではあるので、当たり障りのない意味の伝わる語義を選択していただきたい。
◇「市民の意見やニーズに妥当性があるかどうか判断」といった表現はどうか。
●今回の資料は第３次行政大綱から要約したものであったが、先程の意見を踏まえ修正を検討したい。
◇（３）について 「市民力」とはどんなものなのか。「市民」の後に「力」をつけると、内容はわからないがあたかもそのような力があるように感じてしまう。 また中間支援組織の設置を進めるとは具体的に。
●「市民力」については第３次行政改革大綱で記載しており、市民の持っている力を引き出す、力をお借りするというニュアンスで、このような表現をしていた。 中間支援組織については安中市には以前よりＮＰＯやボランティア団体をまとめる組織がなかったため、それをまとめるボランティア団体をつくるのはどうかということである。
◇「市民力」という言葉については、「市民の持っている能力を引き出す仕組みづくり」といった表現にしてはどうか。 中間支援組織の設置は賛成である。大いに期待している。
◇方針２ 職員の資質向上と人事制度について （１）について⇒意見なし （２）について⇒意見なし
◇（３）について 職員の資質を向上するために、職員研修制度を見直すという形で、（３）と（６）の項目はまとめられるのではないか。

●統合する形で考えていきたい。
◇正規職員だけでなく、現在研修制度から外れてしまっている非正規職員についても一緒に自己研鑽できる場があるとよい。非正規職員も対象に含まれることを示してあげるとよいと思う。
◇あらゆる働き方の職員について、同じ方向を向いて安中市のまちづくりに励めるような仕組みづくりが必要だと思う。
◇（４）について 非常に難しい問題であり、多様な意見があることは重々承知だが、目標管理制度は廃止したほうがよいと考えている。 目標管理制度下で、客観的に評価することは困難である。大事なのは職員が適正に自己評価する力ではないだろうか。職員の適正な自己評価に対して管理職が共感的な理解を示しながらアドバイスをするという仕組みが大事だと思う。
◇意見を踏まえて検討いただきたい。
◇（５）について⇒意見なし （６）については協議済み （７）について⇒意見なし
◇（８）について （８）と（９）は同じカテゴリーになるのでは。内容について、外国籍人材に関する論議は多様な価値観があると思うので、慎重に扱うほうがよいと思う。また、「採用試験制度の充実を図る」とあるが、どうしていくのかを具体的に示していただきたい。
◇（８）について 「多様な人材」について、ダイバーシティという趣旨の項目なのであれば、内容に偏りがある。例えば、「女性管理職の人数を増やす」など、女性という観点がないが、意識されていないのか、こういった方針なのか、事務局にはご確認いただきたい。
●「多様な人材」については、一般採用枠のほかに専門職の採用枠を設けるといった、人材を活用する制度の多様性、という趣旨である。 今回の素案は、他自治体の事例も参考に新しい項目を案として載せている。内容について、今後は人事担当の職員課の考えも確認しながら、原案を作成していきたい。 なお、女性の管理職については、もちろん積極的に増やしていくという方針であるため、数値目標などがあれば盛り込んでいきたいと思う。
◇この項目での「多様な」という表現は「多様な領域の人材を確保したい」という趣旨であると承知した。
◇（９）について 優秀な人材の確保ということで、次の時代を見据えて公務員の副業についても論議すべきだと思う。
◇方針３ 効率的・弾力的かつ機動性のある組織の整備について （１）について⇒意見なし （２）について⇒意見なし

(3) について⇒意見なし
◇(4) について 行政区は「行政の最小単位」ではなく、住民自治の基本であると考えてるので、行政区と自治会組織を混同しないように文言を考えていただきたい。
◇(5) について 「選択と集中」を進めるとあるが、負の側面もあるため慎重に進めていただきたい。 ◇これは行政改革全般にいえることだと思うが、市の収入に関しても限りがあるものなのであれもこれもと指針を打ち出すことはできない。いろんな選択に迫られる。しかしそのことにより負の側面が生じるのも真理だと思う。そういったところに配慮した文言の作成をお願いしたい。
◇(6) について P F I は一時期は話題だったが、全国的にもあまり成功例がないのでは。 ●今後、安中市でP F I に適している事業があるかといえば未定。民間活力は活用したいと思っているが手法とすると選択肢はあると思うので流行りで計画や大綱に盛り込むのではなく、現状を見つつ将来を見極めるような内容にしたいと思っている。 ◇他の自治体の現状分析等を行ったうえで検討していただきたい。
◇方針4 健全な財政運営について (1) について 自治体の財務諸表を作っているのか。 ●作成しているが、活用できていないので、項目に盛り込んでいる。
◇企業版ふるさと納税について、特に教育分野で活用できると考え注目している。積極的に活用する方針を打ち出していただきたい。
◇財源確保は非常に重要な問題であるので強く打ち出していただきたい。 「サンセット方式」については、より馴染みのある表現を使うことを検討してもよいかもしれない。
◇(2) について⇒意見なし
◇(3) について 公立碓氷病院は健全化と地域の医療ニーズとのバランスは図れていないのが現状であり、健全な経営ができない実状があることを踏まえた文言をお願いしたいと考える。 ●黒字は難しいと思うが、赤字幅を徐々に減らし改善に向かう経営状況にしたい思いである。 ◇経営の健全化で公立碓氷病院が出てくるが、地域の市民の命・健康を守っているということを入れておかないと結果として黒字化されていない部分だけを見て健全化をというのはいかがかと思う。碓氷病院でないとできない地域医療はたくさんある。 ◇事務局には市民のための必要性という部分を打ち出した上での検討をお願いしたい。
◇事務局からの提案④について 方針5 自治体DXの推進について

方針５は新規の項目となるが、資料６の今年３月に策定された安中市ＤＸ推進計画のバックボーンになればと考える。内容としては全て安中市ＤＸ推進計画に盛り込まれているものとなっている。安中市ＤＸ推進計画が詳細なものであるので、大綱を作る立場の視点で、何か意見があればお願いしたい。
◇（１）（２）（３）について⇒意見なし
◇（４）について 電子地域通貨は現在、考えられているのか。
●今年の冬には導入予定である。
◇電子地域通貨に関しては積極的に進めていただきたいと思う。問題点はこの目的が大綱の中に盛り込まれていない。目的としては地域経済循環・地産地消だと思うが大綱に入れるべき。
◇（５）について⇒意見なし
◇方針５は新規に追加した項目だが、並び順はより前に掲げなくともよいのか。 個人的意見とすると方針１は行政改革の出発点となると思うのでそのままよいのでは。
◇方針１～４で打ち出す方針を実現する手段として方針５のＤＸ推進があるという考え方で、並び順は素案のとおりでよいと思う。
◇その他、意見があれば伺いたい。⇒意見なし

４ その他

➤ 第２回会議の日程について

８月３０日（金）１４：００から２０６会議室にて開催する。

５ 閉会